

地理歴史科(日本史B)指導案

指導教員 先生
指導者

1. 日時

平成30年度6月7日(木)・第5時限(13:00-13:50)

2. 学年

第2学年1組 18名(男9名/女9名)

3. 場所

学習室D

4. 教材

『詳説日本史B』(山川出版社)・『最新日本史図表』(第一学習社)

5. 単元名

第2章 律令国家の形成 第2節 律令国家への道〈律令国家への道〉

6. 生徒観

本クラスの生徒は皆真面目で、私語や遅刻は少ない。授業中は自ら資料集を取り出して確認する生徒や、熱心にプリントに書き込んでいる生徒もいる。易しい設問には的確に答えることができ、中学内容や既に学習した知識の多くは習得できている。

7. 単元観

本単元は第一に、東アジアの情勢とそれに呼応して白村江の戦いをきっかけに中央集権的な律令国家を目指す倭国の動きについて理解することを目標とする。また、大化改新から亡くなるまで倭国の政権を握った中大兄皇子が何をねらいとして白村江の戦いに臨んだのかを思考することを第二の目標とする。

大化改新後、天皇となった孝徳天皇の没後、斉明天皇が即位したが、実権は中大兄皇子の手にあった。中大兄皇子の手腕の元、中央集権的な国家の成立が近づく中、大陸では唐が新羅と結び、660年に百済を滅ぼした。百済に残された旧勢力は倭国に救援を要請し、倭国はその要請を受けて朝鮮半島へと出兵したが、白村江の戦いで大敗してしまう。以降、倭国は大陸から来ると予想される敵を迎え撃つために防護施設を設けると共にさらなる中央主権的な律令国家の形成へと急いだ。

しかし中大兄皇子が即位し天智天皇となった数年後、天智天皇は没し、その後継争いである壬申の乱が勃発する。大友皇子と大海人皇子が争ったこの戦いは大海人皇子が勝利し、天武天皇となった。天武天皇とその妻である後の持統天皇は厚く仏教を保護するとともに戸籍の作成や律令の制定に努めた。

8. 指導観

本単元は中大兄皇子が斉明天皇の即位、白村江の戦いを経て、どのようにして強大な権力を手に入れ、どのような形で律令国家を形成したのかについて明確にする。また、白村江の戦いはその要因に様々な論説があるため、その要因を考えることを本単元の思考活動とする。さらに、天智天皇、持統天皇は厚く仏教を保護したことから、次回単元の白鳳文化に繋がることを指摘する。

9. 単元の目標

【関心・意欲・態度】中大兄皇子が何故百済の旧援軍を派遣したのかについて興味を持って授業を聴き、積極的にその要因について自ら発言する。

【思考・判断・表現】中大兄皇子が何故百済の旧援軍を朝鮮半島に派遣したのか考え、自分の言葉でそう考えた理由を表現

【資料】次単元の白鳳文化の内容につなげるため、適宜資料集(p64-65)を参照する。

【知識・理解】中大兄皇子の政権確立過程と天武天皇と持統天皇の行った政策について理解する。

10. 指導計画(計6時間)

1時間目	第2節 律令国家への道 〈大化改新〉
2時間目	同上 〈律令国家への道〉 ←本時
3時間目	同上 〈律令国家への道〉 壬申の乱～
4時間目	同上 〈白鳳文化〉
5時間目	同上 〈大宝律令と官僚制〉
6時間目	同上 〈民衆の負担〉

11. 本時の目標

- 中大兄皇子が何故百済の救援軍を朝鮮半島に派遣したのかについて思考し、自分の言葉で表現することができる。
- 中大兄皇子の白村江の戦前後の政策について理解することが出来る。

12. 本時の授業展開(二重下線=発問内容)

配時	生徒の学習活動	教師の指導・発問	指導上の留意点
導入 (5分)	■ 前回配布したプリントを用意する	号令・挨拶	・ 問いをかけた紙を 黒板端に貼る ・ あくまで問いを提 示するだけ。授業の 半ばで問うことを予 告しておく
		■ 前回使用したプリントや教科書を用意する ように促す	
展開 (40分)	■ 中大兄皇子の専権確立 ・ 中大兄皇子と孝徳天皇が対立し、孝徳天皇没後斉明天皇が即位しさらに中大兄皇子の権力が高まったことを確認、プリントに書き込む ■ 大陸の動きと白村江の戦い ・ 百済が降伏し、倭国に救援を求めるまでの一連の流れについて確認、プリントに書き込む ・ 白村江の戦いについて確認、プリントに書き込む	■ 中大兄皇子の専権確立 ・ 中大兄皇子と孝徳天皇が対立し、孝徳天皇没後斉明天皇が即位しさらに中大兄皇子の権力が高まったことを解説、板書 ■ 大陸の動きと白村江の戦い ・ 百済が降伏し、倭国に救援を求めるまでの一連の流れについて解説、板書 ・ 白村江の戦いについて解説、板書	・ 地図の板書を使っ て解説する… ・ 〈1〉について解説 後、2、3分周りと 相談させる。その間 に机間指導をする。 その後全体で挙手で 意見を問い、数人に 理由を問う ・ 〈2〉も〈1〉同様 に進める
	発問⑪ 選択肢 〈1〉 A:大義名分通り、ただ百済を救いたかったから B:百済を助けることで恩を売り、朝鮮に倭国の支配下に置かれた国家を作るため 〈2〉 a:自ら対外的な危機に身を置くことで国家統一を図るため b:戦いに地方豪族の兵を用いることで国内の敵対勢力を減じるため ・ 白村江の戦い後の防衛政策について確認、プリントに書き込む ■ 天智天皇の政治と壬申の乱 ・ 天智天皇の即位と庚午年籍について確認、プリントに書き込む	・ 白村江の戦い後の防衛政策について解説 ■ 天智天皇の政治と壬申の乱 ・ 天智天皇の即位と庚午年籍について解説	
まとめ (5分)	■ 本時の内容を白村江の戦いからおさえる ■ 最後に質問がある者は挙手して質問する	■ 白村江の戦いのきっかけとその後の影響、その後の動きについて再度解説 ■ 次回、天智天皇死去の後、天皇の後継者争いである壬申の乱が起こることを予告 ■ 最後に質問や疑問点がないか全体に確認しておく	号令・挨拶